

〔国際会議開催〕

申 請 者	大阪大学 情報科学研究科 准教授 原 隆浩	2045015
国際会議名称	第 33 回信頼分散システム国際シンポジウム	
開 催 期 間	2014 年 10 月 6 日～10 月 9 日	
開 催 場 所	東大寺総合文化センター（奈良県奈良市）	
申請者の役割	シンポジウム委員長	

概 要：

信頼分散システム国際シンポジウムは、情報通信（ICT）分野で世界最大規模の学術団体である IEEE が主催する分散システム（インターネットなどのネットワークで広域に接続されたコンピュータシステム）の信頼性に関する国際会議であり、毎年開催されている。複雑化する分散システムの信頼性・安全性に対する技術開発が学術的・社会的・産業的に急務である。第 33 回信頼分散システム国際シンポジウム（SRDS2014）は、このような社会の要求に応えるために、最近注目されているクラウドコンピューティング（ネットワーク上のサービスやコンピュータ資源を利用する仕組）やビッグデータ（企業、個人などが生成する大規模なデータを扱う仕組み）におけるセキュリティやプライバシー保護、スマート・グリーン（コンピュータシステムの省電力化）、性能保証などを含む最新技術の動向などを、全世界の研究者で討論・情報交換することを目的としている。本国際シンポジウムを、平成 26 年 10 月 6 日（月）～9 日（木）に東大寺総合文化センター（奈良県奈良市）にて開催し、132 名（国内 67 名、海外 65 名）の研究者が参加した。投稿された 106 件の論文の内、30 件を採択し（採択率 28.3%）、分散システム、データベース、セキュリティ、信頼システムなど様々な分野に関する 67 件の研究発表を行い、新しい技術の創出について議論を行った。論文集は IEEE CS より USB メモリで本会議とワークショップに分けて出版された。

本国際シンポジウムは、貴財団の助成により十分な予算で運営でき、上記のとおり大変盛況な国際シンポジウムとなった。情報工学の今後のさらなる発展および普及に大きく寄与できたと考えている。関係者に謝意を示す。